

## 学 会 記 事

第14回研究報告大会は、秋色深まる1993年11月13日（土）～14日（日）の両日、姫路独協大学で開催された。共通論題は「EC・国家・地域——統合の新たな挑戦と課題」で、統合の進展にともなう政治、経済および社会的フレームワークの複合化、重層化が提起している諸問題に関する、興味深い報告に対して、フロアからの質疑が交わされ、2日間にわたる、熱のこもった討論が展開された。第1日目の午後に行なわれた、ジュネーブ高等研究所ルネ・シュボック教授の「スイスとEEA」と題する特別報告の原稿は最後まで到着せず、掲載を断念せざるをえなかった。

11月の総会において、出水理事の編集担当の辞任にともなう理事と監事の若干の交代が承認され、理事会の構成は別掲の通りとなった。

なお第13回大会で田中俊郎会員から報告された ECSA-World（EC 研究世界学会）の第2回研究大会は94年5月に開催されたが、本学会から田中俊郎、田中素香、中原喜一郎、中村民雄各会員が参加された。

第1日目の日程終了後、主催校姫路独協大学の御好意により、同大学教職員食堂で多数の会員が出席して盛大な懇親会が開かれた。

第14回大会のプログラムは次の通りであった。

[プログラム]

### ◇第1日（11月13日）

午後の部（13時～16時30分）

司会者 澤田昭夫（日本大学）

- (1) EC・国家・地域関係と補完性原理 浅見政江（慶応義塾大学大学院）
- (2) 補完性の原理と EC 政策決定 長尾 悟（国際大学）
- (3) スイスと EEA ルネ・シュボック（ジュネーブ高等研究所）

総 会（16時40分～17時）

懇親会（17時15分～19時15分） 姫路独協大学教職員食堂

◇第2日（11月14日）

午前の部（10時～12時）

司会者 清水貞俊（立命館大学）

(1) EC の地域政策

— 域内格差解消への課題— 荒川潤・片山泰輔（三和総合研究所）

(2) EC 市場統合と環境税

八巻節夫（東洋大学）

昼食休憩（12時～13時） この間 理事会

総 会（13時～13時15分）

午後の部（13時15分～15時15分）

司会者 小原 喜雄（神戸大学）

(1) 環境保護分野における EC 法とドイツ法

— 行政規制による環境保護ディレクティブの実施に関する EC 裁判所判例  
を手がかりとして— 山下 淳（神戸大学）

(2) 統合 EC と連邦国家ドイツの憲法的危機

— 放送権限の所在をめぐる— 鈴木秀美（北陸大学）